

農薬環境懇談会

1. 趣 旨

環境省の設置にともない農薬環境管理室が新たに設けられ、新たな農薬環境行政の展開が期待されており、中央環境審議会土壌農薬部会、農薬専門委員会において須藤専門委員長から今後の農薬環境行政の方針について広く検討したいとの提案がなされたところである。また、農薬の生態影響評価システムの確立、POPs 条約対応、環境ホルモン問題への対応など農薬を巡る課題も山積している状況にある。

このため、農薬環境管理室の設置を一つの契機として今後の農薬環境行政の行政運営の方針の中期的展望を取りまとめるため、農薬環境懇談会を設置する。

2. 検討事項

- (1) 農薬環境行政の今後 10 年程度の基本方針
- (2) 農薬の生態影響の評価、POPs 条約への対応、環境ホルモン問題への対応、情報の公開などトピックスについての基本方針
- (3) その他

3. 懇談会構成

基本的には農薬専門委員会の中心的メンバ - により構成し、農薬工業会、生態系の専門家等を加え、構成する。

座長	須藤 隆一	東北工業大学客員教授
	井上 達	国立医薬品食品衛生研究所
	真柄 康基	北海道大学大学院教授
	真板 敬三	残留農薬研究所常務理事
	伊東 祐孝	J A セレサ川崎農業協同組合営農経済本部技術顧問
	金森 房子	東京都立短期大学講師
	北原 武	東京大学教授
	谷田部雅嗣	NHK 解説委員
	北條 祥子	尚絅(シヨウケイ)女学院短期大学教授
	星野 敏明	日本バイエルアグロケム
	細見 正明	東京農工大教授
	田辺 潔	国立環境研究所(化学物質)
	菅谷 芳雄	国立環境研究所(生態影響)

参考資料 5

4．懇談会の設置の方法

部長委嘱の懇談会とし、専門委員会、部会に懇談会報告を報告するものとする。

5．検討スケジュール

検討テーマから、年内報告取りまとめを目途に5回程度開催。

第1回 農薬の歴史、今までの取り組みのレビュー -

検討課題の自由討論

第2回 検討課題毎の現状と課題と対応方針の検討（全般的事項）

第3回 同上（個別トピックス）

第4回 報告骨子の検討

第5回 報告案の検討